

令和4年度 野菜病虫害発生予察情報 《明石地区版 第2号》

令和4年9月29日 発行

調査: JA兵庫南・JAあかし・加古川普及センター
資料作成: 東播磨農業改良普及事業協議会
(加古川農業改良普及センター)

トラップ誘殺数は ハスモンヨトウ、オオタバコガ 共に多めでした。
ほ場では卵塊やハスモンヨトウ、シロイチモジヨ
トウ幼虫も見られ、害虫の発生が増えつつあります。

1. 発生状況 (9月29日 調査)

(1) フェロモントラップでの誘殺数 (誘殺期間14日間の頭数)

	魚住町			大久保町		要防除水準(14日間)
	清水	長池	金ヶ崎	松陰新田①	松陰新田②	
ハスモンヨトウ	964	637	1755	2103	-	200 以上
オオタバコガ	69	59	57	42	66	40 以上

(2) ほ場での害虫発生状況 (20株調査での幼虫頭数)

害虫名	魚住町			大久保町		備考
	清水	長池	金ヶ崎	松陰新田川東	松陰新田鉄砲塚	
ハスモンヨトウ	卵塊1		4			2, 3 齢幼虫
シロイチモジヨトウ			10			若~3 齢幼虫

2. 今後の防除と管理作業の注意点

(1) ハスモンヨトウ等害虫の適期防除の励行

- ・トラップでの誘殺数は、前回調査の2倍程度に増加しているところもあるなど、ハスモンヨトウ、オオタバコガ共に全地点で要防除水準を超えています。ほ場での見取り調査では、調査地点では防除がしっかりできていたため幼虫の確認は少なかったものの、今後も次々と発生が予想されるので、初期防除に努めましょう。
- ・兵庫県病害虫防除所の発生予報第5号(9月15日付)では、ハイマダラノメイガ「やや多」、ハスモンヨトウ「やや多」、シロイチモジヨトウは「多」と発生を予想しています。今後の1カ月予報によると、気温は平年より高いと予想されており、チョウ目害虫の増殖に好適な条件になるため、今後も野菜類全般での被害の発生に、継続して注意が必要です。

【キャベツ、ブロッコリーの害虫防除薬剤の例】★使用の際には農業ラベルを十分に確認したうえで、正しく使用して下さい。

薬剤名	適用病虫害名		希釈倍率	使用回数	使用時期
グレーシア乳剤	キャベツ	アトムシ、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ウバ類、オオタバコガ、ヨウムシ	2,000~3,000倍	2回以内	収穫7日前まで
	ブロッコリー				
コテツフロアブル	キャベツ	アトムシ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、タマキンウバ、ハイマダラノメイガ、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨウムシ	2,000倍	2回以内	収穫前日まで
	ブロッコリー				収穫3日前まで
ディアナSC	キャベツ	アトムシ、オオタバコガ、ウバ類、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨウムシ	2,500~5,000倍	2回以内	収穫前日まで
	ブロッコリー				

(2) ほ場内の除草

雑草の繁茂が目立つほ場があります。放置すると、肥料分を取られ、小玉傾向になる等キャベツの生育に悪影響を及ぼします。また、ほ場内の風通しが悪くなることで病害の発生原因になる恐れもあるので早めの除草を行ってください。バスタ液剤など生育期の使用登録がある除草剤が使用できます。その際は、くれぐれも作物に除草剤がかからないように注意して下さい。

薬剤名	雑草	雑草	使用量	使用方法	使用時期	使用回数	散布液量
バスタ液剤	キャベツ	一年生雑草	300~500 ml/10a	雑草茎葉散布	収穫45日前まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)	2回以内	100~150L/10a
	ブロッコリー				収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)		

次回の調査は、10月14日の予定です。